

商学部における特色ある学部教育の補助
「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」 報告書

テーマ	： 学生時代のマーケティング研究とマーケティング実務への示唆			： マーケティング・リサーチ職の視点から
科目名	： 演習Ⅰ			
担当教員	： 寺本 高			
実施日	2025年6月21日(土)	時限	5	時限目 実施教室： 慶應義塾大学 三田キャンパス465教室 教室

実施趣旨（目的）

講義内容は、講師の学生時代のマーケティング研究の概要、現在の勤務先での業務内容について説明したうえで、それも含めマーケティングゼミでの活動が現在の自身の実務にどう活かしているのか、現役学生に対して現在どういうスタンスで研究活動、ゼミ運営活動をしていくべきかについて体験談を交えて解説する。授業との関係については、マーケティング研究ゼミとして研究コンテストに参加するうえで必要な姿勢について学べるだけでなく、それが学生自身の進路選択や将来設計について考えていくための参考情報を得る有力な機会となる。

実施結果

株式会社インテージ マーケティングパートナー第一本部マーケティング企画推進室 リサーチャーの池田鈴菜氏より、同氏が学生時代にマーケティングのゼミでマーケティング研究を行った経験と、現在のマーケティングリサーチャーとしての業務経験をお話いただいた。特に、同氏は受講学生が今後参加する関東学生マーケティング大会への参加経験があり、そこで得た教訓も踏まえて受講学生に対して次の2点の提言がなされた。1つは、ビジネス提案では、既存のマーケティング施策をしっかりと情報収集したうえで、それらに比してどういう点が優れているのかを明確に示すこと。もう1つは、安易にオンラインによる施策提案の話に行かないこと。オンラインが当たり前になっている世の中だけど、オフラインの世界も依然として重要。その重要性を理解したうえででの切込みがあると良い。以上の提言は受講学生が今後、コンテストでの研究の参考になるだけでなく、今後社会人として活動していく中での重要な示唆も含んでいる。



(池田氏)